

○校則改定

代表生徒による校則検討委員会を中心に協議を重ね、今年度から校則が改訂されました。LGBTQなど人権への配慮や、「中学生らしさ」を生徒自らが考えたもので、「校則が楽になった・・・」ではなく、「生徒自らが考えるもの」に変わっています。毎年検討を重ね、生徒自らの力で矢掛中学校を創造していきます。

(校則検討委員会による生徒へのプレゼン 令和4年3学期)

5 おわりに

- ・校則とは：「学校が教育目的を達成するために、合理的な範囲内において定めるもの」
- ・「選択の自由」「人権」などの視点で問題がないかチェックする必要がある

× 「校則が自由になった！」 「ゆるくなった！」

○ 「各々の判断や責任が求められるようになった」

一人一人の主体性でよりよい矢掛中学校へ

令和5年1学期、校則の見直しのための生徒アンケートを実施しました。

質問1 昨年度、校則が改定されたことで、学校生活がどう変化しましたか？

